

14日「世界糖尿病デー」

500人予防法学ぶ

徳島市でフォーラム

「世界糖尿病デー」(14日)を前に、県糖尿病協会と徳島大糖尿病臨床・研究開発センターは8日、徳島市のイオンモール徳島で糖尿病について理解を深めるフォーラムを開き、約500人が予防法を学んだ。

専門医や管理栄養士ら計6人が店舗2階に相談コーナーを設け、高齢者らが食生活や健康状態について質問した。医師らは「1回の

食事で白米は150gまで食べて大丈夫」「果物の摂取量を少し減らして」などと個別に助言した。糖尿病の特徴を解説するパネル展示や、新型コロナウイルス感染症予防策を記した啓発チラシの配布もあった。

柳原隆さん(83)Ⅱ級建築士、徳島市南二軒屋町新開Ⅱは「複数の専門家に助言してもらい良かった。食生活などを改善し、健康的な体づくりに努めたい」と話した。

イオンモール徳島では15



来場者に糖尿病予防について助言する管理栄養士Ⅱ
徳島市のイオンモール徳島

日までの間、店舗外観を日没から午前0時まで糖尿病啓発のシンボルカラーである青にライトアップしている。

(富士佳輝)